

八学大ラグビー部 全国へ



小林眞市長（右から3人目）に全国大学選手権での健闘を誓った
八学大ラグビー部の選手ら＝12日、八戸市庁

市長に報告 「目標1勝」

ラグビーの全国大学選手権（21日～来年1月11日・代表として出場する八学大）に、北海道・東北地区・八戸市庁に小林眞市長を訪問（東京都秩父宮ラグビー場）は、大の選手ら5人が12日、八戸市庁を訪れた。

東北地区大学リーグ1部の八学大は3校で争った予選プールAで弘前大医学部、岩手大に快勝。予選プールB1位の東北大にも大勝し、リーグ連覇を果たした。今月3日に宮城県で行われた北海道・東北地区代表決定戦では、北海道地区代表の北海道大を24-12で下し、3度目となる全国切符を手にした。

FW仲澤翼主将（4年）は「新型コロナウイルスの影響で練習時間が少ない中、自主的に、積極的に練習に取り組んだ結果、目標の『全国1勝』を成し遂げたい」と意気込んだ。工藤祐太郎監督は「DFの強化によって攻撃の機会が増え、大量得点で勝つことができた。反則の少なさも勝利につながった」と選手たちを評価した。

これに対し、小林市長は「しっかり準備して全国大会では目標を達成できるように頑張ってもらいたい」と激励した。

八学大は21日の全国大会1回戦で、九州1部1位チームと対戦する。
（向屋敦明）